

TOKYO METRO

東京を、もっと。
地下鉄を、もっと。

東京地下鉄株式会社
2021年度版





この国の政治、経済を支え、
あらゆる情報、文化が集積する都市、東京。
世界中の人々がここを訪れ、ここに集い、
新たな交流が生まれ続けています。
それはやがて、この街の活力となって、
日本を牽引していくことになるのです。



私たちの使命は、そんな東京を走らせていくこと。

輸送人員(1日平均)

758万人

東京を、もっと。地下鉄を、もっと。

もっと安全に、もっと快適に、もっと東京を元気に、楽しく。
いくつもの「もっと」の想いが推進力となって
地下鉄を、そして東京という街を、走らせています。



あなたは、どんな「もっと」を持っていますか？
それを、どのように実現していきますか？
みなさんの「もっと」を、私たち東京メトロとともに、
カタチにしていきましょう。



東京メトロを利用されるお客様は、1日平均758万人。年間の旅客運輸収入は3,485億円(2019年3月期)。いずれも首都圏を走る私鉄各社の実績を、はるかに凌ぐ規模となっています。これだけ多くのお客様にご利用いただく公共交通機関として、東京メトロが果たすべき使命は「お客様を安全に目的地までお運びする」ということ。「世界トップレベルの安心」を世界中から集うすべてのお客様に提供しています。



ネットワーク

195.1 km^{*}

1927年12月、東洋初の地下鉄を上野～浅草間に走らせて以来、そのネットワークを着実に広げ、現在、東京都心部を中心としたエリアで9つの路線を運営しています。これらの路線の総距離は195.1km。この路線上に179の駅を有しています。さらに、うち7路線では他社線との相互直通運転を実施。合計で550.9kmという首都圏の巨大な鉄道ネットワークの中核を形成。郊外から都心へのシームレスな輸送サービスを提供しています。



輸送効率

世界 No.1^{*}

地下鉄は主に道路の下を利用して建設されるため、様々な建造物が密集する都市を支える交通手段として、世界的に整備が進められてきました。そんな世界の主要都市を走る地下鉄の中でも、東京メトロは世界No.1の輸送効率(キロあたり輸送人員)を誇る、世界を代表する鉄道会社なのです。そして今後も、東洋初の地下鉄事業者としての自覚と誇りを持って、新技術の開発・導入に挑み続け、世界の地下鉄のトップランナーとして走り続けます。

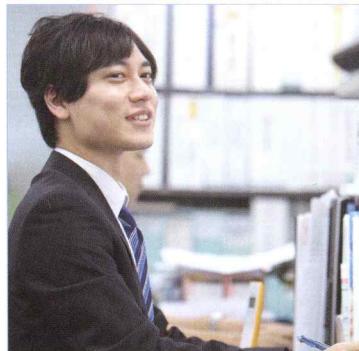


オフィシャルパートナー

東京2020大会

2016年6月7日、東京メトロは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と「東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)」契約を締結しました。東京の魅力を伝える「東京の案内役」として、また、円滑な旅客鉄道輸送サービスを提供する「東京圏の交通ネットワークのつなぎ役」として、日本はもとより海外からのお客様にも東京を存分に楽しんでもらうように努め、交通の面から東京2020大会の成功を支えていきます。



 <p>事務系</p> <h3>運輸営業</h3> <p>駅や乗務など、鉄道を利用されるお客様と直接関係する輸送サービスを統括します。お客様のご利用機会の拡大を目指して、マーケティングから、サービスや商品の開発、営業活動も行います。</p>	 <h3>事業開発</h3> <p>輸送サービス以外のサービスを提供し、鉄道そのものの付加価値をも高めていく事業を担います。新規事業の企画・戦略・立案を行うと共に、既存事業の効率的な運営・管理を行います。</p>	 <h3>経営企画</h3> <p>長期的で広い視野に立ち、会社の方向性を決める業務を担います。経営陣のブレーンとなるべき存在として、3か年ごとの中期経営計画策定や進捗管理を実施、経営状況の分析等も行います。</p>	 <h3>一般管理</h3> <p>東京メトロという巨大な組織がスムーズに機能するように、ヒト・モノ・カネ・情報という経営資源を管理・運用し、企業経営を全体的にサポートします。</p>
 <p>技術系</p> <h3>機電系（車両）</h3> <p>新型車両・新技术の導入や既存車両の保守・改造工事の長期計画を策定し、メーカーとの共同開発や設計、試験を実施します。また相互直通運転を行う他鉄道会社とのシステム仕様協議等にも携わります。</p>	 <p>技術系</p> <h3>機電系（電気）</h3> <p>駅やトンネル内にある変電設備、信号・通信システム、昇降機、ホーム柵など電気設備の更新計画を策定し、更新計画に沿って、電気設備の更新を行います。また、新技術導入に向けた計画・調整などに携わります。</p>	 <p>技術系</p> <h3>土木</h3> <p>安全を守り、サービスの向上を図るため、土木構造物・軌道設備の維持管理および大規模改良工事を計画・実施します。構造物の建設・保守により磨き上げた技術力を活かし、東京メトロの価値を高めます。</p>	 <h3>建築</h3> <p>お客様が利用される駅空間をより魅力的で快適にしたり、社員が働く職場をより効率的で働きやすくしたりするため、銀座線リニューアルや駅改築などの施策を長期的な視点で計画し具体化します。</p>
<h1>総合職 として働く</h1>			
			

総合職の特徴

部門横断的な
ジョブローテーション

総合職の将来像

経営的な
目線を養う



駅

駅構内の安全管理やホームでの列車監視、IFC（インフォメーションカウンター）でのご案内、券売機の収入金管理などを担当します。安全を守ると共に、東京メトロの「顔」としてお客様に快適なサービスを提供します。



車掌

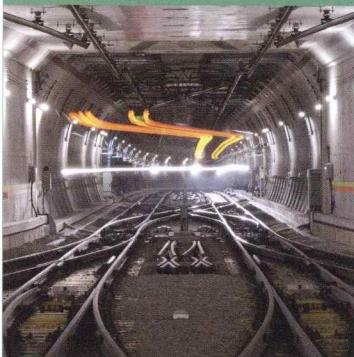
担当路線内の列車に乗務し、お客様乗降時の安全確認やドアの開閉操作、車内放送や空調調整を担当します。緊急時には、お客様の避難誘導やけがの応急処置など保安要員としての役割も担います。



運転士

担当路線内の列車を運転し、お客様を目的地までお運びします。安全・安定輸送を大前提に、快適な乗り心地を提供することを心掛け、ダイヤ乱れが発生した場合には、臨機に対応します。

エキスパート職として働く



車両

車両を分解して大規模な検査・修繕をする「工場」と、日常的な車両の点検・整備を行う「検車」に分かれます。様々な特徴を持つ車両をメンテナンスし、安全で快適な移動空間を提供します。



電気

電力会社から受電した電力を変換・変圧する設備を保守管理する「変電」、架線や駅施設の電気設備を保守管理する「電機」、信号・通信設備を保守管理する「信通」に分かれます。日々の点検・検査は列車の安全運行に欠かせません。



土木

軌道（レール）の保守管理をする「軌道」、土木構造物の維持管理をする「保守土木」、駅の大規模工事を行う「改良土木」に分かれます。日々の点検や工事の施工監理を担当します。



建築

駅及び鉄道に関わる建物の、利便性や快適性を高めるリニューアル工事を担当します。工事を計画し、設計会社や建設会社と連携をとりながら設計・工事監理に携わります。

エキスパート職の特徴

1つの部門で
技術を磨く

エキスパート職の将来像

プロフェッショナルとして
キャリアを形成

FOCUS 01

東京メトロ社員の素顔に迫る 総合職編

先輩社員の等身大の姿を見て、その情熱に触れることから東京メトロという企業を理解してほしい。

そんな想いから、3人の社員に、あえて共通の質問を投げかけてみるとしました。

それぞれの言葉に触れて、あなたはどう感じたのか。その素直な気持ちを、今度は私たちに伝えてください。

**Q1 | 東京を、もっと、
どうしたい?**

**Q2 | 10年後に、
こうありたい自分像。**



A1 | 東京メトロの進化が 東京の魅力になる

私が東京メトロへの入社を決めたのは、「生まれ育った東京をより良くていいたい」「日々の生活に密着したサービスに関わりたい」という想いを実現できるフィールドだと考えたからです。お客様の声を聞き、お客様視点に立ったサービスを考えることが、東京をより良くしていくことにつながると思うので、東京都民や東京の街と常に向き合い、日々の暮らしを向上させる提案を積極的に行っていきたいと考えています。高齢者やハンディキャップのある方、海外から東京を訪れる方など、様々な人たちが集う東京だからこそ、多くの人に寄り添えるような温かみのある企業にしていきたいですし、それが東京という街の魅力にもつながると思っています。

A2 | バランス感覚を持って 全体最適を追求する

人事部、官公庁派遣、営業部、経営管理部、国際業務部と、2年ごとに部署異動を経験したことで、部署ごとの文化や考え方方に触れ、部署間の違いも体感することができました。それぞれの考え方や専門性を受け入れ、吸収しながらも、決して1つに染まり切らずにいることが、自分には合っていると感じています。ある考え方を示されたときに、それを認めた上で、こういう考え方もあるのではないかと、比較しながら論じられるような人になっていきたいと考えています。企業として歩んでいくべき方向性を指し示すのが、総合職社員に求められる資質だとするならば、バランス感覚を大切にしながら、全体最適を追求できるような人材になっていきたいと思うのです。

秋本 幸佑 の覚悟

好きだから、
もっと良くしたい。

秋本 幸佑

2008年入社 第一文学部
総合人文学科卒
国際業務部



中村 幸江
の挑戦

収益を広げる
新たな道を拓く。

中村 幸江

2011年入社 工学研究科
建築・都市科学専攻修了
工務部 日比谷線工務区



総合職
技術系

A1 | 東京を、もっと
安全、安心な街に

私は入社以来、軌道部門で仕事をしてきました。軌道とは、レールやまくらぎ、道床などの総称で、現在担当している日比谷線の軌道の保守管理の仕事は東京メトロの日々の安全・安定輸送を直に支える仕事だと考えています。軌道は、生き物のようなもので、日々の列車運行によって生じるズレを、ミリ単位で管理し、適切なタイミングで必要な補修を行うことが求められます。これまでの安全・安定輸送の裏で培ってきた数多くの現場経験やノウハウを、誰もが共有できる資産として体系化し、より精度の高いメンテナンス体制を確立することが当面の目標です。そのことによって、東京を、もっと安心して暮らせる街にしていきたいと考えています。

A2 | 東京メトロのメンテナンスを
外部に発信したい

東京メトロは、地下トンネル、限られた狭い空間といった様々な制約条件のもと、安全・安定輸送を実現するために、地下鉄独自のメンテナンス技術を磨いてきました。制約の多い厳しい環境で培った現場経験や知見だからこそ、ほかの鉄道事業者にはない価値があるはずです。それらをシステムとして体系化して、外部に発信することが入社前から考えていた想いでした。それは国内外の鉄道事業者に、大きなインパクトを与えることになるとを考えています。メンテナンスという陰で支える仕事でも、価値を生み出し新たな道を切り拓くことに挑戦していきたいです。

A1 | 東京をもっと、
面白くしたい

私は、東京をもっと面白くしたいという想いから、東京メトロに入社しました。東京で暮らし、働く人たちに大きな影響力を及ぼすことのできる企業はどこかと考えたとき、最初に思い浮かんだのが東京メトロでした。現在は、車両部でTIS(車両制御情報管理装置)という列車のメインシステムを担当しています。同時に、列車をどれだけ面白くできるかというテーマにも取り組んでいて、最先端の通信技術を取り入れることで、お客様がワクワクするような情報をスピーディにやりとりできる仕組みを構築できないかと検討を重ねています。東京で暮らすことの楽しさを、地下鉄を使いながら実感できるように仕掛けていきたいのです。

A2 | 東京の進化を、
支える存在になる

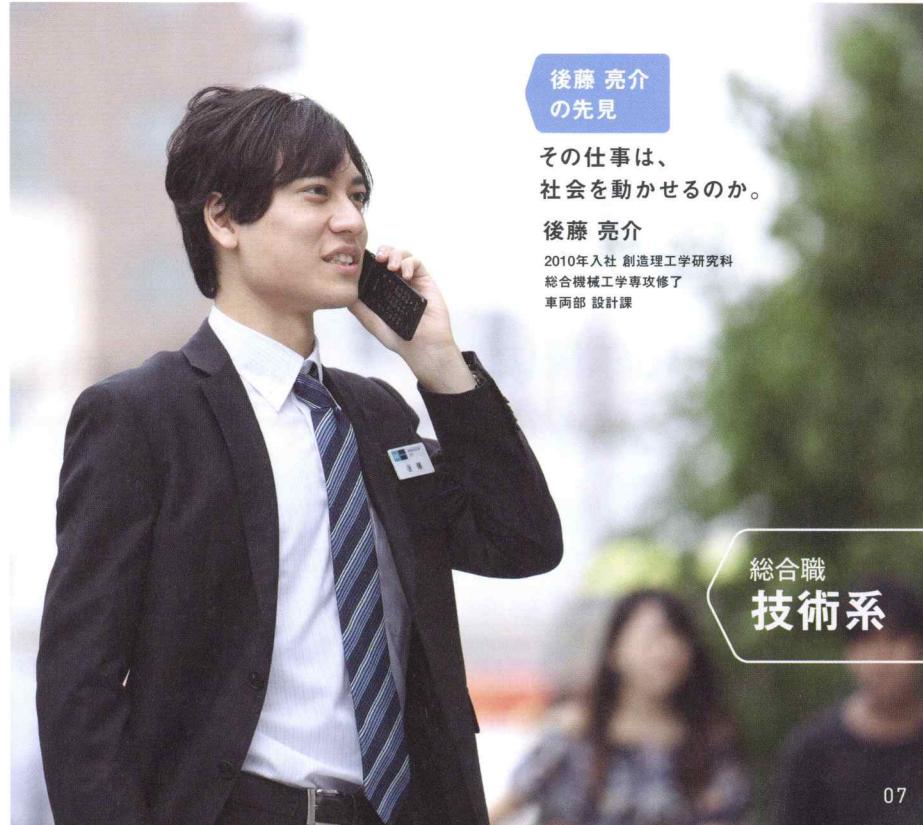
自ら発案して取り組んだ仕事が、東京を支え、進化させていくことに貢献でき、その成果が具体的に見えるような仕事をしたいと思っています。それは、東京ならではの最先端交通システムを構築するという仕事でもいいですし、東京メトロの可能性を広げる新たなビジネス領域を開拓するような仕事でもいい。どのようなアプローチで、何に取り組むべきなのか、現時点ではっきりと見えているわけではありませんが、東京を進化させ、それが東京メトロの成長にもつながるような道を進みたいと思います。そのためにも、より幅広い視野を持てるよう、これまで経験できなかった領域の仕事にも積極的にチャレンジしていきたいと考えています。

後藤 亮介
の先見

その仕事は、
社会を動かせるのか。

後藤 亮介

2010年入社 創造理工学研究科
総合機械工学専攻修了
車両部 設計課



総合職
技術系

FOCUS 02

東京メトロ社員の素顔に迫る
エキスパート職編

先輩社員の等身大の姿を見て、その情熱に触れることから
東京メトロという企業を理解してほしい。
そんな想いから、3人の社員に、あえて共通の質問を
投げかけてみることにしました。
それぞれの言葉に触れて、あなたはどう感じたのか。
その素直な気持ちを、今度は私たちに伝えてください。

**Q1 | 東京を、もっと、
どうしたい?**

**Q2 | 10年後に、
こうありたい自分像。**



エキスパート職
技術職種

大塚 捷悟
の覚悟

もっと高い視点で、
安全輸送を
俯瞰して見る。

大塚 捷悟

2014年入社 工学部
電気電子情報工学科卒
車両部 稼働検査区

A1 |さらなる国際化向け、
東京をもっと乗り心地よく

車両の点検・整備を行う「検車」を担当しています。様々な車両の「健康診断」を行い、日常の安全輸送を守るのが主な業務です。鉄道会社を選んだのは、大学時代に学んだ知識を活かしつつ、お客様を笑顔にするお手伝いができるからです。父が東京メトロに勤めており、自分も同じ会社で同じ道を志したいという想いもありました。現在、東京はインバウンドの効果で、外国からのお客様が増加しています。地下鉄に不慣れな方にも、安全で快適な車両を提供できるよう、点検・整備を徹底したいですね。最新技術を駆使した新型車両がどんどん導入されれば、乗り心地もさらに改善され向上していくと思いますので、東京の街を足元からしっかりと支えていきたいです。

A2 |検車の技術を極めつつ、
さらに高い視点を目指す

現在は動力車操縦者運転免許(限定)を取得し、車両基地構内運転も担当しています。出庫や入庫に伴う構内運転は営業線と密接にかかわるために運転時刻が細かく定められており、常に緊張感のある業務です。自分たちが点検した車両を無事に営業線の運転士に引き継いだときの達成感は大きなものがあります。また、緊急時には、総合指令所とやりとりし、的確な判断をしなければならないこともあります。今後の自分の目標としては、車両に対する知識だけでなく運転業務の知識も深め、仕事の幅を広げつつ、より高い視点での判断ができるような立場を目指しています。安全輸送を、俯瞰的に見られる人間になるのが将来の目標です。

A1 | 広い視野をもち、駅のすべての業務を任される存在になりたい

現在勤務している駅は乗降が多く、平日は通勤のお客様で混雑しますし、土日も観光目的のお客様が途切れずに訪れます。国内だけではなく訪日外国人のお客様も多くいらっしゃいますので、普通の接客だけでは伝わりません。笑顔や話し方、身振り手振りも合わせて丁寧な接客を心掛けています。私が生まれた岩手県では、駅員さんは毎日挨拶を交わすほどフレンドリーな存在であり、私の目標です。最近は目の前のことこなすだけではなく、より広い視野を持って業務を行えるようになってきました。駅周辺は観光スポットやグルメスポットが多くあります。仕事の後などに自分でも巡ってみて、ガイドブックにないような東京の魅力もご案内したいと考えています。

阿部 泰士 の覚悟

1日1日の積み重ね、
小さな達成感を
忘れずに。

阿部 泰士

2011年入社 専門学校卒
営業部 大手町駅務管区



A2 | 初心を忘れず、 1日1日を笑顔で過ごす

仕事を始めたときと変わらない、純粋な気持ちを持ち続けたいですね。我先に世をしたいという願望はありませんが、10年後は、日々努力を積み上げていった結果として、指導する立場になっていたいと思っています。宿泊勤務を終えて、同僚と笑って話しながら帰ることに小さなやりがいを感じていますが、皆で協力し合い1日を無事に終わらせたからこそ笑えるのだと思います。私はこのときの達成感が大好きです。お客様の身にならながら状況を把握し、何を求めているのかを瞬時に感じ取り、対応することで、心地良い接客を達成する。そんな1日1日を積み重ねる。この初心を忘れずに、これから入社してくれる後輩にも共有しながら、成長していきたいと考えています。



小菅 彩加 の覚悟

東京の足元を支え、
お客様の命を
預かっている。

小菅 彩加

2013年入社 総合学科卒
運転部 千代田線乗務管区

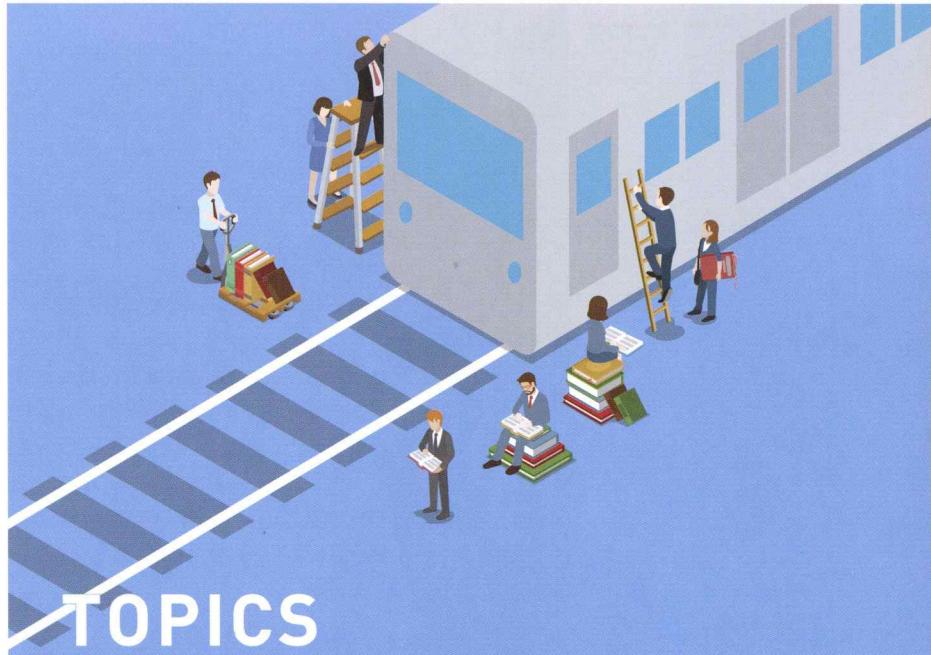
エキスパート職 運輸職種

A1 | 乗り慣れていない方にも、 自分なりのおもてなし

押上駅の駅係員から始まり、現在は千代田線の車掌を務めています。「東京メトロにまた乗りたい」と思っていたいけるよう、車内放送や車内空調の調整、ドアの開閉という日々の業務において常に目配り・気配り・心配りを意識しています。近年、海外からのお客様も多く、様々なお客様が東京メトロをご利用になります。地下鉄は路線数も多い上、駅構内も複雑ですが、初めて東京を訪れるお客様にも安心してご乗車いただけるようご案内やおもてなしをしたいと思っています。最近、駅の案内表示が多言語化され新しくなるなど、新しい取り組みを展開している会社ですし、私も現場から東京メトロの良さを、もっと伝えていきたいですね。

A2 | 女性車掌の進出を応援、 後輩たちの模範となる

東京メトロではまだ女性社員は多くありませんが、10年後を思うと、女性がもっと増えているはずです。最近まで千代田線の女性車掌の中では私が1番年下だったので、先輩に生活面や知識面で気遣っていただき、助かった経験があります。そんな先輩の姿を見習い、後輩の模範となりたいと思っています。規律や使命感、知識面でも信頼され何でも話しやすい環境を作る、そのためには自分のスキルアップも必要です。現在車掌として乗務する中でも、運転士を目指して日々努力しています。東京メトロをもっと広い視野で見て、より知識の幅を広げることで、東京を足元から支えたいです。



TOPICS

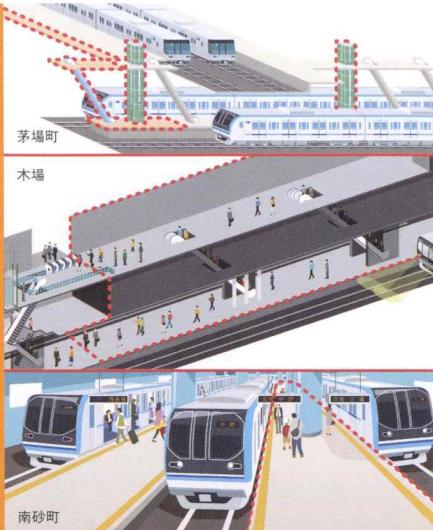
東京の未来へとつないでいく 東京メトロの取り組み

東京メトロは、首都東京の都市機能を支える交通事業者として、「東京の案内役」「東京圏の交通ネットワークのつなぎ役」という役割を果たしています。「世界トップレベルの安心」を、世界中から集うあらゆるお客様に提供するために、安全で、便利で、快適な地下鉄をつくりあげていくこと。同時に、駅を拠点に周辺地域の活性化や東京のまちづくりに貢献し、新たな人の流れや営みを生み出し、「東京を楽しく」することも、私たちが果たすべき重要な役割だと考えています。そんな東京メトロの最新の取り組みの一部を、ここにご紹介します。それぞれの取り組みの先には、東京の未来像が見えてくるはずです。

01

東洋初の地下鉄が、 最先端の機能と出会う日。

1927年に「東洋初の地下鉄」として開業して以来、浅草から渋谷という、東京を代表する様々な街をつないできた銀座線。その歴史と伝統を受け継ぎながら、最先端の機能やサービスを取り入れたリニューアルを進めています。お客様にもっと愛される駅づくりを目指して、駅デザインコンペを順次開催。客観的な視点を採り入れた全19駅の改装を進めています。また、銀座線を走る全列車を、新型の1000系車両に更新。銀座線をご利用いただくすべてのお客様に、安心で快適な乗り心地を提供したいと考えています。さらに、バリアフリー設備の整備を促進し、全駅にホームドアを設置します。地下という限られた空間の中に最先端の技術を投入し、先進機能を発信する地下鉄へ。お客様の夢を乗せて、銀座線は生まれ変わります。



02

快適な輸送サービスの提供へ 東西線の進化は止まらない。

東西線の輸送人員数は、1日平均146万人を超えて、全9路線中、最も多くのお客様にご利用いただいている。そのため、駅や車内の混雑緩和や乗降時間の短縮による遅延防止について、抜本的な対策を講じ、確実に実行していくことが必要です。具体的には、茅場町駅におけるホーム延伸、木場駅におけるホーム・コンコース拡幅、南砂町駅における線路・ホーム増設等を実施するほか、飯田橋駅～九段下駅間における折り返し線の整備やワイドA型の新型車両の追加導入など、将来的な列車増発に向けた準備を推進しています。さらに、遅延を抑制し、混雑の緩和を図るためにオフピークキャンペーンを実施するなど、ソフト面の施策も併せて推進することにより、より快適な輸送サービスを提供できるよう努めています。

03

自然災害から 人々を守るために。

お客様を安全、確実に目的地までお運びすること。それが首都・東京を担う交通機関としての東京メトロの使命です。大規模な自然災害が発生した場合に備えて、お客様の安全確保を最優先に、震災対策、大規模浸水対策等の自然災害対策を進めています。震災対策としては、すでに震度7クラスの地震動にも崩壊、崩落のない対策がとられていますが、さらに首都直下地震等に備え、震災発生時にも早期の運行再開ができるよう、高架橋の柱をはじめとする構造物の耐震補強工事を進めています。また、大規模浸水対策として、駅出入口の止水板の改良、腰壁の嵩上げ、出入口の完全防水化を実施するほか、坑口(トンネルの入口部分)等への浸水対策を進めています。地上部が浸水した場合でも、早期復旧ができる環境を整備するために、変電所など地上部における鉄道関連施設への対策も進めています。



04

車両の中でも 国際化が進んでいます。

東京メトロを利用される訪日外国人のお客様が増える中、駅空間での案内サービスの多言語化など、お客様のニーズを捉えた各種施策を積極的に実施しています。同時に、新型車両の導入時や既存車両のリニューアル時期に合わせて、車両の国際化も進められています。例えば、銀座線・丸ノ内線・日比谷線において、車内に3画面のディスプレイを順次搭載し、多言語による運行情報の提供と天気予報やニュースなどの情報を配信し、ご案内の強化を実現します。また、訪日外国人のお客様向け無料Wi-Fiサービスを順次導入し、車内でいつでも情報が得られるようにしてきます。このほか、外国语ホームページやfacebook、訪日外国人向け情報サイトなどを活用し、東京はもちろん、日本での観光を楽しんでいただけるよう、日本の様々な魅力を発信していきます。

05

運行情報を、見やすくはっきりと。 ホームでの安心感が広がります。

東京メトロをご利用になるお客様に、列車の現在位置や発車時刻をお知らせする行先案内表示器を新しくしています。新型の行先案内表示器では、表示デザインの自由度が高い液晶ディスプレイを採用。従来のLED表示器よりも多くの情報を表示することが可能となると共に、表示情報の視認性が向上します。列車の現在位置、各種ご案内と、次發列車情報の表示欄を個別に設けることで、必要な情報を常に表示しておくことが可能になりました。ダイヤ乱れ等の際には、最下段に運行情報が表示されます。また、表示言語を、現行の日本語、英語の2か国語表示から、中国語（簡体字）、韓国語を加えた4か国語表示として、海外からのお客様によりわかりやすい案内に。2020年度までに東京メトロ全線に設置を完了する予定です。



06

券売機が旅行者に道案内？ 便利ならつくればいい。

地下鉄の利用頻度の高いお客様ほど、PASMOなどの交通系ICカードを利用されているようです。つまり、地下鉄に乗り慣れていないお客様や訪日外国人のお客様ほど、券売機を利用する機会が多いのです。ならば、そうしたお客様に使いやすく、もっと便利な券売機をつくろう。そんな想いからスタートしたのが、次世代型自動券売機の開発でした。ワイド画面や7か国語にも対応し、路線図や観光スポットから目的地を検索できるなど、シンプルさとわかりやすさを追及しました。例えば「観光スポットで探す」では、目的駅までの乗車経路を表示し、さらに到着駅から目的の観光スポットまでの概略図を表示します。この券売機は上野駅、浅草駅、銀座駅等旅行者の多い69駅に順次設置していきます。



 東京地下鉄株式会社
本社 | 東京都台東区東上野3-19-6

安全。安心。メトロの目
様々な場所で出会ったリアルな「メトロの目」を捉え、その
真剣なまなざしにまつわるストーリーをお伝えしています。

<http://www.metro-eye.jp/>



東京メトロ新卒採用サイト
仕事の内容やキャリアなど、東京メトロについて詳しく
知ることができます。

<http://tokyometro-recruit.jp/>

